

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規一社（社名）－、除外一社（社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

詳細は、添付資料P7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（会計方針の変更）」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2023年3月期1 Q	3,150,000株	2022年3月期	3,150,000株
2023年3月期1 Q	304株	2022年3月期	304株
2023年3月期1 Q	3,149,696株	2022年3月期1 Q	3,149,696株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症による厳しい状況が緩和され、経済活動に回復の兆しがみられるものの、ウクライナ情勢にともなう原油価格や原材料価格の高騰に加え、急激な円安の進行により輸入価格が上昇するなど、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループの主力マーケットである食品飲料業界においては、行動制限の緩和によって消費に持ち直しがみられるものの、物流費の上昇や原材料価格の高騰に加え、消費者の節約志向の高まりなどもあり、今後の経営環境は引き続き厳しい状況が予想されます。

このような状況のもと、当社グループは「お客様に十分ご満足のゆく商品・サービスの提供」を品質方針として、安心かつ安全な商品を提供することを第一に品質管理体制の強化を図り、お客様のニーズに合わせた安定的な供給の継続及びサービスの向上に努めてまいりました。卸売事業において、主力カテゴリーである食品副原料、茶類や果汁などの農産物加工品の販売数量が増加したことにより、当第1四半期連結累計期間の売上高は7,940,511千円（前期比5.1%増）となりました。一方、売上総利益率が前年同期に比べて低下したことに加え、販売活動にともなう諸経費や展示会の出展費用などが増加したことにより、営業利益は301,794千円（前期比15.1%減）となり、経常利益は263,101千円（前期比25.7%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は177,329千円（前期比27.4%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

<卸売事業>

清涼飲料市場においては、新型コロナウイルスワクチン接種対応措置の進展などを背景に人流が増加し、回復傾向で推移したものの、新型コロナウイルス感染拡大前の出荷数量には及ばぬ状況が続いております。また、原材料価格や物流費などのコスト上昇にともない、飲料メーカー各社は一部商品を値上げし、利益確保に取り組んでいるものの、今後の市場環境は引き続き不透明な状況が続く見通しであります。

このような状況下、当社グループは取引先の多様なニーズに対応すべく、国内外から安全で安心な原材料・資材を確保し、安定供給体制の維持に努め既存取引先のサービス向上と新規商材の開発・販促に注力してまいりました。主力カテゴリーである食品副原料、茶類や果汁などの農産物加工品の販売数量が前年同期に比べ増加したことから、卸売事業の売上高は7,908,719千円（前期比4.9%増）となりました。

<製造販売事業>

安心かつ安全な商品の提供を第一に、素材本来の味・香り・色をそのまま表現できるアイスクリームの開発に注力し、NB商品の販売強化ならびに取引先のニーズに合ったPB商品の提供に努めてまいりました。主要顧客先からの業務用バルクアイスの受注に加えて、新規顧客先からのカップアイスの受注が増加したことから、製造販売事業の売上高は243,326千円（前期比44.8%増）となりました。

(注) セグメントの売上高には、セグメント間の内部売上高を含んでおります。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の流動資産は、前連結会計年度末に比べ454,401千円増加し、9,526,469千円となりました。主な要因は、受取手形、売掛金、商品および製品の増加によるものであります。また、当第1四半期連結会計期間末の固定資産は、前連結会計年度末に比べ68,137千円増加し、1,517,553千円となりました。

この結果、当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ522,539千円増加の11,044,023千円となりました。

② 負債の状況

当第1四半期連結会計期間末の流動負債は、前連結会計年度末に比べ185,549千円増加し、5,496,149千円となりました。主な要因は、買掛金の増加によるものであります。また、当第1四半期連結会計期間末の固定負債は、前連結会計年度末に比べ250,751千円増加し、1,696,446千円となりました。主な要因は、長期借入金の増加によるものであります。

この結果、当第1四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ436,301千円増加し、7,192,596千円となりました。

③ 純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ86,238千円増加し、3,851,426千円となりました。主な要因は、利益剰余金、為替勘定調整勘定の増加によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2022年5月10日に発表いたしました数値から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,775,813	1,734,076
受取手形	87,066	104,723
売掛金	4,184,037	4,817,384
商品及び製品	1,506,790	1,761,427
未着商品	1,060,078	723,310
原材料及び貯蔵品	51,912	68,888
未収入金	122,173	97,866
その他	330,761	268,851
貸倒引当金	△46,565	△50,060
流動資産合計	9,072,067	9,526,469
固定資産		
有形固定資産	376,916	475,634
無形固定資産	4,075	3,885
投資その他の資産	1,068,424	1,038,033
固定資産合計	1,449,416	1,517,553
資産合計	10,521,483	11,044,023
負債の部		
流動負債		
買掛金	4,071,470	4,213,613
1年内返済予定の長期借入金	764,608	816,046
未払金	171,923	177,306
未払法人税等	163,851	67,106
賞与引当金	44,004	23,400
その他	94,742	198,676
流動負債合計	5,310,599	5,496,149
固定負債		
長期借入金	1,376,909	1,526,849
資産除去債務	10,658	10,683
その他	58,127	158,914
固定負債合計	1,445,695	1,696,446
負債合計	6,756,295	7,192,596
純資産の部		
株主資本		
資本金	363,387	363,387
資本剰余金	292,475	292,475
利益剰余金	2,712,605	2,741,899
自己株式	△259	△259
株主資本合計	3,368,209	3,397,503
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	249,627	248,803
繰延ヘッジ損益	12,659	17,939
為替換算調整勘定	50,714	87,376
その他の包括利益累計額合計	313,001	354,120
非支配株主持分	83,977	99,803
純資産合計	3,765,188	3,851,426
負債純資産合計	10,521,483	11,044,023

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
売上高	7,556,334	7,940,511
売上原価	6,657,444	7,071,883
売上総利益	898,890	868,628
販売費及び一般管理費	543,426	566,834
営業利益	355,463	301,794
営業外収益		
受取配当金	2,505	2,873
受取手数料	1,581	1,054
補助金収入	3,245	881
その他	3,392	810
営業外収益合計	10,725	5,620
営業外費用		
支払利息	2,086	2,179
為替差損	9,971	42,016
その他	0	117
営業外費用合計	12,057	44,313
経常利益	354,130	263,101
税金等調整前四半期純利益	354,130	263,101
法人税、住民税及び事業税	94,443	62,782
法人税等調整額	12,967	17,868
法人税等合計	107,410	80,651
四半期純利益	246,720	182,450
非支配株主に帰属する四半期純利益	2,339	5,120
親会社株主に帰属する四半期純利益	244,381	177,329

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純利益	246,720	182,450
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△12,923	△823
繰延ヘッジ損益	△4,765	5,280
為替換算調整勘定	△184	47,367
その他の包括利益合計	△17,873	51,823
四半期包括利益	228,846	234,274
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	226,541	218,448
非支配株主に係る四半期包括利益	2,305	15,825

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	卸売事業	製造販売 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	7,483,193	73,140	7,556,334	—	7,556,334
セグメント間の内部 売上高又は振替高	58,914	94,926	153,841	△153,841	—
計	7,542,108	168,066	7,710,175	△153,841	7,556,334
セグメント利益	352,558	3,292	355,850	△387	355,463

(注) 1. セグメント利益の調整額△387千円は、セグメント間取引消去△387千円であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	卸売事業	製造販売 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	7,786,516	153,994	7,940,511	—	7,940,511
セグメント間の内部 売上高又は振替高	122,202	89,331	211,533	△211,533	—
計	7,908,719	243,326	8,152,045	△211,533	7,940,511
セグメント利益	294,101	7,292	301,394	399	301,794

(注) 1. セグメント利益の調整額399千円は、セグメント間取引消去399千円であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。